

経営課題を解決

IRC

情報
提供

人材
育成

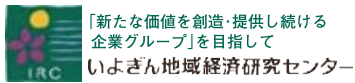
経営
支援

(IRC会員募集中)

会員の方は各種サービスをご利用できます



※調査月報(発刊済)の無料送付も受付中



エレベーターメーカーより安くなるのはサービス品質に差があるから？



コストダウンには品質は関係ありません！
本体コストの差によるもので安全性は変わりません！

創業44年 エレベーターの保守・改修工事
愛媛メンテナンス株式会社

削りぶし・煮干し・だしの素・めんつゆ・チルド商品

マルトモ

マルトモ株式会社
【本社】〒799-3192愛媛県伊予市米湊1696番地

週刊

1973年創刊

阿ることなく・恐れることなく 愛媛経済レポート

2024年(令和6年) 12月16日号 第2425号

Wハーモニー

鯛専門のラーメン店と土産店

松山ロープウェー街に2店舗同時出店、観光客に愛媛の鯛PR



「満福久」の店舗イメージ



「MEDETAIME」で扱う商品

同社は2018年設立。イ
エスローカル(旧エイトワン)
グループ(大藪崇代表)の1
社で、宇和島鯛めし「丸水」
や松山鯛めし「秋嘉」、柑橘
専門店「10フアクトリー」な
どを運営する。

今回出店するのは2店舗。
一つはラーメン店「満福久」。
丸水や秋嘉で発生する骨やあ
らの有効活用のため、かねて
構想していた。場所は同市大
街道3-6-4。席数は12席。
だしは骨とあらのみでとる。
調理法を工夫し、「臭みを抑
え、鯛を感じられる味わいに
仕上げた(篠宮社長)」という。
価格は1千円以内に抑える予
定。12月末オープンを目指す。
アンテナショップ「MED
ETAIME」の場所は松山
市大街道3-7-6。同社が
運営していた缶詰専門店跡。

缶詰ではさまざまな魚介を使
用した商品企画しているが、
飛び抜けて鯛商品が売ってい
たことから、鯛に特化した店
舗へのリニューアルを決めた。
缶詰はECで販売する。

炊き込み鯛めしの素(切り
身とだしのセット)、鯛のレ
トルト食品がメイン商材。鯛
めしの素はしょうゆ味と塩味
のほか、パエリア風や松山鮭
風、じゃこ天入りなどの変わ
り種もそろえる。また、表と
裏で色の違うたい焼き、鯛を
使ったじゃこ天とじゃこカツ
の販売も行う。さらに、「鯛
の鯛」と呼ばれる鯛の胸の部
分にある小さな鯛の形をした
骨でキーホルダーも商品化す
る。12月20日オープン予定。

今春出店した約20本の蛇口
が並ぶみかんジュース専門店
には、多くの観光客が訪れて
おり、全国ネットの生放送
番組でも紹介された。「愛媛
に興味を持ってもらうには
強みを徹底的に深掘りする
必要がある。今後も観光客
の方に愛媛のおいしさと楽
しさを届けられる店舗づく
りを目指す」としている。

接待専用コースあります



かに道楽 松山店

松山市一番町2-6-3 ☎089-941-2448

「鯛の鯛」のキーホルダーも

飲食業の(株)Wハーモニー(松山市桑原、篠宮篤志社長)は、松山ロ
ープウェー商店街に鯛専門のラーメン店とアンテナショップをオー
ンする。ラーメンには既存店で発生する骨やあらを有効利用。アン
テナショップでは食品だけでなく、鯛の鯛と呼ばれる骨を使ったキー
ホルダーも販売する。愛媛の強みを深掘りし、観光客に発信したい考え。

毎日屋クリーニング探訪

(有)毎日屋(松山市中村3、森史規社長)は、1918年創業、46年設立。本社に工場を構え、クリーニング業を手掛ける。店舗は本店(本社住所)のほか東雲店(同市西一万町)も構える。同社はこのほどロゴを刷新。「改めて毎日屋を知ってもらい、幅広い年齢層の方に利用していただきたい」(水口美絵子取締役)と話す。

新たなロゴは「アイロン・シャツ・洗濯時の水の流れ」を組み合わせ、毎日屋の「M」の文字を表現しているという。

ロゴの完成に合わせ、名刺や看板をリニューアルしたほか、ロゴ入りTシャツも制作。「同じTシャツを着て業務をこなすことで一体感も生まれます」(同)。

近年は、しみ抜きに注力。質の高い仕上がりが評価され、リピー



ロゴデザインは(株)シンプル(松山市、正岡昇社長)が手掛けた

クリーニングの依頼も増えた。ひと昔前の思い出が詰まった衣類をまた着ることができるようお客様の思いに添えていきたい」(同)と意気込む。

またリネンサプライ部門では、自動包装の設備を導入するなど省力化を図るための取り組みも行う。松山市を中心に飲食店や工場など顧客を増やしている。

水口取締役は「県外の勉強会などに参加し、技術向上にも日々努めている。毎日屋にしかできないことを追求していく」とする。インスタからは情報発信も行う。



思わず行きたくなる! ひと
うわさの女



BREW used & vintage
オーナー 関口 遥さん

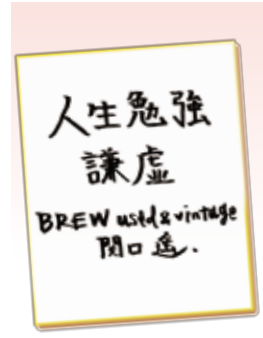


所在地: 今治市玉川町長谷甲10
60-1 (カフェ・マグノリア2F)
営業時間: 9~16時
定休: 火・水・日曜日
※関口さん手作りのニット製品も販売。古着のリメイクにも対応する。オンラインショップあり。



2025年版会社年鑑より一部掲載

ブルーユーズド&ビンテージは、今治市玉川町の田園風景の広がる場所に店を構え、海外で買いつけた古着やビンテージアクセサリーなどを販売する。関口さんは昔から海外への憧れが強く、大学時代にはアメリカにも留学した。将来は「海外に行き来するような仕事」を思い描いていたところ子どもが生まれ、子育て環境を考慮しUTターンすることになったという。



学生の頃から古着が好きで、大学時代は吉祥寺の古着店によく通った。いざ地元に戻って仕事を探すなかで、夢だった海外と関われる仕事として自ら古着

店を開くことを決めた。4月に母親が経営するカフェ「マグノリア」2階に店舗をオープン。レイディスを中心に「手頃な価格で明るい色合いの古着を多く取りそろえている」と関口さん。「自分のクローゼットの中を見てもらっている感覚」といい、「古着は素材が良く柄や色合いも一点ものがほとんど。宝探しの感覚で買い物を楽しんでほしい」と話している。26歳。

社長の★Birthday

- 鈴木康士さん(株)シーライブ、昭和35年12月9日
- 廣川純さん(二浪証券株)、昭和46年12月10日
- 井上仁さん(株)四国中央テレビ、昭和43年12月11日
- 三木雅人さん(三木特種製紙株)、昭和31年12月12日
- 楠橋一彦さん(株)捺染工房、昭和41年12月12日
- 福岡正人さん(株)公益社、昭和44年12月13日
- 本田和也さん(有)太陽ファーム、昭和38年12月14日
- 畑田康裕さん(株)ハタダ、昭和40年12月14日
- 榑部麻美さん(日新工業株)、昭和53年12月15日
- 黒河伸二郎さん(栄信株)、昭和56年12月15日

※当コーナーにご登場いただける女性を募集しています ☎089-947-1411(うわさの女係)